

領域：	グローバル		
テーマ：	国際経済入門		
担当者名：	杉本喜美子		
開講時期：	前期：火曜 4・5・6 限	募集定員：	25 名
内容：	米中貿易摩擦、英国の EU 離脱（Brexit）、資源価格の動向、中国経済の鈍化など、世界経済の先行きには不透明感が増してきた。さらに、世界各地における地政学的リスクの高まりは、移民を増加させるとともに、受け入れ各国を保護主義へと移行させている。あらゆる問題がグローバルに双方向性を持つ現状のもとで、各現象はなぜ起こるのか、各国共通の経済問題とは何か、日本/先進国/新興国/途上国に固有の経済問題とは何か、格差はなぜ拡大するのかなど、国際経済にまつわる問題を発見し、論理的に理解する。		
到達目標：	IMF、OECD、World Bank などが発行する世界経済展望や各国経済レポートを、日本語で読む。それぞれが取り上げた担当国に関して、データを集め、読み解く。その結果を発表・議論しあうことで、総合的に、世界経済の現状を把握する。 ①論理的に思考する力 ②プレゼンテーション・スキルを伸ばすことを目指す。		
講義方法：	1.各テーマに関する講義 2.各国データの収集と統計分析 3. 各テーマに即した各国経済の現状を発表 4.互いの結果を比較し討論 *各自 1ヶ国、担当国を決める。興味のある国を見つけておくこと 5.国際経済に関して、講義構成にない独自テーマで 20 分発表（グループ発表も可）		
準備学習：	世界で何が起きているのかを、新聞等で把握すると同時に、国際経済学の基本を理解しておこう。理論なら、浦田秀次郎・小川英治・澤田康幸著の『はじめて学ぶ国際経済』（有斐閣アルマ）が参考になる。		
成績評価：	出席(10%)、各回の作業・発表への質問など積極的参加(20%)、テーマごとのプレゼン(全部で 4～5 回程度、40%)と最終レポート(30%)を総合的に評価する。		
欠席基準：	授業実施回数の 3 分の 1（端数は切り捨て）以上を欠席した場合、単位を修得することができない。		
講義構成：	1-2. 経済成長の段階を相対的に把握し、歴史的変遷を確認する。担当国を選択する。 3-4. 貿易の理論と検証・FTA の現状を把握 5-6. 労働移動（移民問題）・直接投資の理論と検証 7-8. 金融市場の発展とビジネスのしやすさ・資金調達のグローバル化の現状を把握 9-10. 産業構造の把握と、貧困・所得格差問題の検証 11-12. 各国経済政策の内容把握と相互比較 13-14. 総括①：担当国が抱える経済問題の全体像をまとめ、発表する。 15. 総括②：各テーマに関して、その結果を互いに比較し、討論する。		
履修条件：	「経済学入門」を修得しておくことが望ましい。		
推奨科目：	「国際協力と開発」「国際経済と開発」		
選考方法：	人数が多い場合は、選考。		
備考：	必ず PC を持参すること。各テーマに関する資料は、My KONAN 上で添付ファイルにして掲載するので、必ず講義前にチェックしてから授業に出席すること。		
説明会：			